

平成30年度の「評価結果」および「改善計画」

項目	評価結果	改善計画
I. 事業運営の評価 (評価項目1～10)	全ての項目において「おおよそできている」以上の評価である。法人理念の下、事業所特性や役割を踏まえた理念や方針があり、それを基に人材育成や運営推進会議の運営、情報共有がされている。また、安全管理は、速やかな事故・ヒヤリハット報告・対応策の検討がなされており、PDCAサイクルを回している。災害時対応の仕組みは、事業所が入っているマザーホーム戸室全体で取り組まれている。	新規開設から3年間で、経営の安定化や事業の周知が段階的に成されてきた。4年目以降は、更に利用者・家族・関連機関・市等からの要望を踏まえ、いわしぐもらしい事業の在り方や取り組みを確立して欲しい。
II. サービス提供等の評価	1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供 (評価項目11～27)	今後も、現在同様に努力を続け、丁寧な対応や取り組みを継続して欲しい。
	2. 多機関・多職種との連携 (評価項目28～31)	今後も、利用者・家族・地域のニーズを把握し、事業所業務に反映することを続けて欲しい。主治医を中心とした連携も今まで通り継続して欲しい。
	3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画 (評価項目32～41)	年を重ねながら、看護小規模の周知が図られてきた。4年目に向けても、これまで手が差し伸べられなかった地域のニーズを把握し、出来得る限りの対応を期待する。
III. 結果評価 (評価項目42～44)	全項目「ほぼすべての利用者について、達成されている」という評価であった。利用者登録がほぼ満員になっても、サービスの質を維持して取り組めた。	